**特別史跡姫路城跡**

姫路城は日本で最も大きく、かつての姿をとどめている城郭の一つであり、空にそびえる天守と素晴らしい漆喰の壁で知られている。現在の城郭は17世紀始めに建てられているにもかかわらず、より古い時代の築城形式を見つけることができる。大天守を中心とする天守群を何重にも堀が囲む複雑な構造となっている。特別史跡姫路城跡の区域は、概ね中濠以内つまり侍が住んでいた内城下町と城郭に大別される。姫路の濠、土塁、石垣は概ね原形をとどめている。城郭は国宝及び世界文化遺産に指定されている。